

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

●医療サービスの向上に向けた取組

★印は、プランの見直しに伴い、R5年度から新たに追加した項目を示しています。

項目	評価	大江委員		川崎委員		阪上委員		谷田委員		土岐委員	
		評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
(1)急性期病院としての機能充実											
①がん医療の充実	C	がん手術件数は伸びているが、全体的に実績が減少している	B+	がん手術件数の増加は評価できる	C	放射線治療件数が減少している	B	実績を維持できている	C	がん手術件数は伸びているが、全体的に実績が減少している	
②救急医療の充実	B	数字的には維持できている	A	救急搬送受入件数等の増加は評価できる	B	数字的には維持できている	B	救急搬送受入件数は評価できる	B	数字的には維持できている	
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備	B	ロボット手術件数の増加は評価できる	B+	ロボット手術件数の増加は評価できる。さらなる質の高い手術を期待する	B	数字的には維持できている	B	数字的には維持できている	B	数字的には維持できている。内視鏡検査件数の増に努めている	
(2)地域医療への貢献											
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化	A	診療所訪問件数200件超の実績は評価できる	A	紹介件数等の実績は高く評価できる	B	診療所訪問件数200件超の実績は評価できる	B+	数字的には評価できる	B	数字的には維持できている	
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組	B	件数等の実績は評価できる	B+	件数等の実績は評価できる。今後の充実を期待する	B	減少している項目もあるが、数字的には維持できている	-	掲載している指標だけでは評価できない	B	数字的には維持できている	
③地域の中核病院としての貢献	A	数字的には評価できる	A	地域の中核病院として、実績は高く評価できる	B	数字的には評価できる	A	数字的には評価できる	B	数字的には評価できる	
④地域に不足する医療機能への対応	B	診療科によって実績に偏りがあるが、一定の評価はできる	B	実績の維持と小児科の救急搬送受入件数の増加は評価できる	C	B評価とするには、現状維持以上の実績が求められる	B+	小児科の救急搬送受入件数の実績は評価できる	B	診療科によって実績に偏りがあるが、一定の評価はできる	
⑤生涯教育の充実	C	市民健康講座の開催数増を望む	B	市民健康講座については、市と連携して充実を望む	C	B評価とするには、現状維持以上の実績が求められる	C	実績を着実に積み上げることが大事。さらなる工夫を期待する	C	さらなる工夫を期待する	
(3)患者サービスの向上											
①職員への意識啓発	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	C	B評価とするには、現状維持以上の実績が求められる	-	掲載している指標だけでは評価できない。患者だけでなく、開業医の満足度もアンケートしてはどうか	B	問題なく実施できている	
②情報発信の強化	B	問題なく実施できている	B	内容の充実や効率化を望む	B	問題なく実施できている	-	掲載している指標だけでは評価できない。さらなる工夫を期待する。	B	問題なく実施できている	
(4)危機管理体制の充実											
①災害時医療への対応	B	問題なく実施できている	B+	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	-	1回だけの訓練では評価できない	B	問題なく実施できている	
②新興感染症の感染拡大時に備えた対応★	B	問題なく実施できている	B+	中核病院としての対応・取組の継続を期待する	B	問題なく実施できている	-	掲載している指標だけでは評価できない。全職員を巻き込んだ備えが重要	B	問題なく実施できている	
(5)職員の意識改革と組織変革											
①職員のアクティビティとモチベーションの向上	B	問題なく実施できている	B+	目標設定に留意したうえで、職員のモチベーション向上に期待する	C	B評価とするには、現状維持以上の実績が求められる	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	
②デジタル化への対応★	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	C	最低限の取組はできている。	-	掲載している指標だけでは評価できない	B	問題なく実施できている	
③組織の活性化	B	問題なく実施できている	A	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている	

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

●経営の健全化に向けた取組

項目	評価	大江委員		川崎委員		阪上委員		谷田委員		土岐委員	
		評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
(1)病床稼働率の向上											
①地域の医療機関などとの連携強化による医療機能の利用促進	C		新入院患者数が計画に達していない	B ⁻	実績は一定評価できる。科別の課題については、スタッフ確保等による改善を期待する	C	新入院患者数が計画に達していない	B	コア対応と両立していたことを考えると、実績は評価できる	C	新入院患者数が計画に達していない
②救急医療の充実（再掲）											
③病床稼働率確保に向けた意識の醸成★	C		稼働率が計画に達していない	B ⁻	科毎の分析・改善を期待する	C	稼働率が計画に達していない	B	コア対応と両立していたことを考えると、実績は評価できる	B	稼働率が計画に達していないものの、実績は一定評価できる
④データ分析に基づく病院経営の実践★	B		問題なく実施できている	B ⁺	問題なく実施できている	C	新しい取組は評価できる	B ⁻	医療の質の向上を目的とするならA評価だが、収益拡大のみを目的とするなら評価はやや低くなる	B	問題なく実施できている
⑤業務指標及び経営状況の情報共有の徹底★	B		問題なく実施できている	B ⁺	問題なく実施できている	B	新しい取組は評価できる	B	問題なく実施できている	B	問題なく実施できている
(2)診療単価の増加											
①適切な診療報酬の確保	A		診療単価は高水準を維持しており高く評価する	B ⁺	実績の維持に努力されている	B	数字的には評価できる	B ⁺	数字的には評価できる	B	数字的には評価できる
(3)費用の適正化											
①診療材料費の適正化	B		数字的には評価できる	B ⁺	実績は評価できる	B	数字的には評価できる	-	新たな取組がなく、評価できない	B	数字的には評価できる
②後発医薬品の積極的な利用	A		実績は高く評価できる	A	実績は高く評価できる	A	実績は高く評価できる	-	新たな取組がなく、評価できない	A	実績は高く評価できる
③職員数の適正化等	B		コロナ補助金の減による収益減や賃上げによる人件費の増については政策的なものであり、比率の悪化については仕方ない面がある	B	医療スタッフの確保等に努力されている	C	比率が計画を上回っている	-	政策的医療を区別したうえでの比率がなく、評価できない	C	専攻医は増えているが、収益は増加していないのが気になる